ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-1(O060A102)	調査位置						北　緯	36 ° 59 ' 09.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2009-10-27 ～ 2009-10-30			東　経	140 ° 14 ' 35.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	517.42 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 40.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	10.02 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1					崩積土 (Dt)	褐灰～淡褐			礫混じり砂状 不規則にφ50～100mmの角礫を混入する 含水少なく堆積状況は緩い		
2	515.42	2.00	2.00		強風化砂岩 (Ss)	暗灰			砂混じり礫状 φ50～250mmの砂岩の角礫を多く含む 礫間は粗砂が主体		10/28 2.42
4						暗灰			礫混じり砂状 砂が主体で礫の混入は少ない		10/29 4.00
5						灰			砂混じり礫状 φ50～100mmの砂岩の角礫を多く含む 礫間は粗砂主体		
7	510.22	5.20	7.20		砂岩 (Ss)	褐灰			やや泥質の細粒砂岩 風化が進みやや褐色を帯びる コアは殆ど岩片状となる		
8						黒灰			泥質の細粒砂岩でやや硬質である 割れ目が多く、コアは15cm以下の棒状～岩片状となる		
10	507.40	2.82	10.02								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値 0 10 20 30 40 50

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				10/27
				10/28
				10/29
				10/30